

県庁舎で営巣していたハヤブサのヒナの成長について

今年も県庁舎で県準絶滅危惧種のハヤブサが営巣し、令和5年4月18日(火)までに、3羽のヒナが誕生したことを職員が確認していましたが、その後、3羽のヒナが、すべて巣立ったことを確認しました。

1 ヒナの巣立ちについて

- ・本日までに、生まれた3羽のヒナ、全ての巣立ちが確認されました。
- ・巣立ち直後のヒナは、まだうまく飛ぶことができず、翼を動かして飛ぶ練習をしています。

2 ハヤブサについて

ハヤブサ科

希少種カテゴリー：県レッドデータブック準絶滅危惧、国レッドリスト絶滅危惧Ⅱ類。国内希少野生動植物種。

生態：海岸部の生態系の頂点に位置する鳥。県内では能登半島と加賀地方の海岸で繁殖。

3 県庁舎でのハヤブサの営巣

ハヤブサは、海岸近くの断崖に営巣する習性があり、県庁舎の高層階のベランダは、ハヤブサの営巣場所に適していたと考えられます。

- ・県庁舎では平成17年から産卵が確認されていたもので、平成26年に初めて繁殖に成功し、3羽のヒナが生まれ、3羽とも無事に巣立ちました。
 - ・平成27年には4羽のヒナが生まれ、4羽が巣立ちました。
 - ・平成28年、平成29年には5羽のヒナが生まれ、全て巣立ちました。
 - ・平成30年は5羽のヒナが生まれ、3羽のヒナが巣立ちました。
 - ・令和元年、令和2年は3羽のヒナが生まれ、3羽が巣立ち、令和3年は4羽のヒナが生まれ、4羽が巣立ちました。
 - ・令和4年は3羽のヒナが生まれ、3羽が巣立ちました。
-
- ・県では、繁殖成功に向け、専門家の指導を受け、ベランダに砂を敷き、また窓のブラインドを下ろし刺激しないようにするなど留意をしてきました。
 - ・今回のヒナ誕生や成長については、自然環境課ホームページにて紹介しています。<http://www.pref.ishikawa.lg.jp/sizen/index.html>

4 取材について

ヒナの保護の観点からマスコミの現地取材は、ご遠慮下さい。

※写真データを提供します。必要な社はご連絡下さい。

(連絡先：生活環境部自然環境課 外線 076-225-1476/内線 4263)



巣立ち後のハヤブサのヒナ（令和5年5月17日撮影）